

どんぐり村の こみ・すく通信

令和6年1月23日発行

令和5年度 第20号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

第3回各学校運営協議会開催

授業での子どもたちの様子を参観してもらう

学校運営や学校評価等にかかわって、たくさんの意見をいただく

第3回学校運営協議会が、12月5日に上更別小学校で、11日に更別中央中学校で、20日に更別小学校で開催されました。学校運営や学校評価等についての報告があり、授業参観を経て話し合いが行われました。

また、CSアクションプランにかかわり「自分にはよいところがあると思える子」を増やすために学校、家庭、地域はどうしたらよいか、追加の意見等を出していただきました。

各会議での主な意見等

【上更別小学校では】

授業では、体験的に学ぶ場面や自分事として思考を促す場面が設定されていましたね。



- ・夏休みのもち方や長期休業について、エアコンの設置がなされるのであれば、設置後の様子を見てからの判断でもよいのでは。
- ・学校行事のスリム化はどこまで？
⇒地域との関わりもあるので、協議中。
- ・大人向けのSNSとの付き合い方研修を多くの大人が参加できるよう実施してほしい。
- ・子どもたちは人数が少なく人間関係に大きな変化がないので「我慢」をするなどの支障が出ることもある。⇒変容をしっかりと見取る。他機関との連携を深めていく。

【更別中央中学校では】

・「いじめ対応」や「コミュニケーション能力」

の評価について生徒・教職員と保護者に差が出ている要因は？⇒保護者の方々に学校のことを伝わっていないことがあると考えられる。懇談会やブログ等で学校の教育活動について今後も丁寧に伝えていく。

- ・教職員の人事にかかわって、現在配置されていない家庭科の先生の現状交流や、保護者のアンケート結果等から人事のニーズを



3年生国語の授業参観

考えることができるのではというご意見もいただきました。

【更別小学校では】

- ・少年団活動について、例えばスケート少年団に関わる教員が少し多くいてくれればありがたい。⇒少年団活動は完全に社会教育の分野で、学校教育と分離されている。学校の先生方に校長から指導を依頼するのは難しく悩ましい問題である。
- ・自分の子どもも少年団に入っていたが、精神的にも成長を促す良い機会となった。たくさんの方にお世話になった。
- ・特別支援教育にかかわって、学級にいろいろなお子さんがいることで、多様な個を認め、互いに成長し、自然に助け合うことができる子ども達に成長すると感じている。

「自分にはよいところがあると思える(自己肯定感が高い)子」を増やすために

【3つの学校運営協議会から】

- ・人との関わりを増やす
- ・失敗はたくさんしてOK
- ・結果より経過をほめる
- ・失敗をほめる(挑戦する気持ちをほめる)
- ・あなたはあなた 人と比較しない
- ・子どもの声を聞く
- ・異年齢との交流を多く行い認め合い(褒め合い)がある場にする
- ・ありがとうを伝える機会をつくる
- ・あいさつをお互いにする